# アカホの木

泉芳朗

青空文庫

冬の光は冲天に流れて
池面は数日来じめじめ淀んでゐる

アカホの木は一つ古木ゆゑに
杖のやうに気根をたより
その南の枝に烏は一羽　未だ地上に達しない光を貪ってゐる

烏は　ただ　黙々と
村人たちの悲しい迷信の上に不可思議な運命をまじなひ

樹下にたじろぐ二人三人の村人は
木梢にうそぶく彼の運命の声に胸をおさへてゐる

◉このアカホの木に烏がなければ、それは村中に起るべき死人かお産
　かの前兆であると村人は信じてゐます

# 青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」国書刊行会
　　1991（平成3）年6月6日第1刷
底本の親本：「泉芳朗詩集」泉芳朗詩集刊行会
　　1959（昭和34）年
入力：坂本真一
校正：フクポー
2018年2月25日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# アカホの木

泉芳朗

2026年10月1日　第二版

## 奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/